

Traditional
Hair Ornaments
& Literature

2018 11/3 → 2019 2/3

櫛とかんざし の物語

江戸時代からの櫛・かんざしなど
三五〇点余りを展示
時代の名匠たちの美と技を
お愉しみください



・菊時給櫛
・楽平東下り図
紅染象牙櫛
・梅に扇題甲かんざし
・紅葉賀題甲かんざし

〈平成30年度市川市文学ミュージアム企画展〉

特別協力：川合マサエ氏（胡蝶庵コレクション）

市川市文学ミュージアム Ichikawa City Museum of Literature / 主催：市川市

●開館時間：午前10時～午後7時30分（土日祝は午後6時）入館は閉館の30分前まで

●休館日：月曜日（12/24、1/14は開館）11/30、12/25、12/28-1/4、1/15、1/31

櫛やかんざしは古から女性を表象するものとして、和歌や物語などの文学作品に魅力的に描かれてきました。しかし、現在では身につけたり鑑賞する機会が少なくなっています。

本展では、胡蝶庵コレクション・川合マサエ氏のご協力を得て、装身具として流行した江戸後期から明治、大正、昭和前期の櫛やかんざしを文学作品や風俗資料と織り交ぜながらご紹介します。

また、花柳章太郎や鍋木清方ら文人たちにゆかりのある櫛やかんざしも展示いたします。

日本人の豊かな感性と繊細な美意識によって昇華された櫛・かんざしと文学とのコラボレーションをお楽しみください。

櫛とかんざし の物語



アールデコ螺鈿亀甲櫛・弁



Traditional Hair Ornaments & Literature

真珠菊花輪繋金かんざし



真珠黒龍甲洋ざし

開催イベント

展示がぐんと楽しめる！
講演会「櫛と江戸文芸」

講師：秋山忠彌氏（江戸史研究家）
日時：11月11日（日）
13時30分～14時30分
会場：市川市生涯学習センター2階
グリーンスタジオ

作って装うワークショップ
江戸つまみかんざし

講師：穂積実氏（県指定伝統工芸士）
日時：12月9日（日）
13時00分～15時30分
ギャラリートーク約30分、制作2時間
会場：市川市生涯学習センター3階
第2研修室 定員40名
参加費：1,000円（当日観覧券付き）

※講演会の開場およびワークショップの受付はいずれも30分前より
※会期中展示替えを行います

コレクターと行く骨董市
～富岡八幡宮～

日時：12月23日（日祝）
9時10分～12時30分予定 定員30名
参加費：500円（当日観覧券付き）

- ・9時10分に企画展示室前に集合
- ・川合マサエ氏による解説を聞きながら企画展をご覧ください。
- ・バスで富岡八幡宮へ（現地解散）

ギャラリートーク

- ・各日14時から40分程度、企画展示室にて
- ・当日の観覧券が必要です

高尾 曜氏（漆工芸研究家）
日時：11月25日（日）

川合マサエ氏（胡蝶庵コレクション）
日時：平成31年1月20日（日）

担当学芸員によるギャラリートーク
日時：12月16日（日）
平成31年1月12日（土）
2月3日（日）

忍者・青龍窟見参！
親子で楽しめる忍者ショー

日時：平成31年1月14日（月祝）
11時／14時

会場：市川市生涯学習センター2階
グリーンスタジオ

- ・当日受付（各回先着240名）
- ※受付は各回開始時間の30分前より

- 観覧料
- ◎ 一般 / 500円 (400円)
 - ◎ 65歳以上 / 400円 (300円)
 - ◎ 高大生 / 250円 (200円)
 - ◎ 中学生以下 無料

※障害者手帳をお持ちの方と付添の方1名無料
※()は25名以上の団体料金



写真提供：胡蝶庵コレクション 資料協力：奥平飯沼山圓福寺 鎌倉市鍋木清方記念美術館
すみだ北斎美術館 ニッケ「日本毛織株式会社」 永井壮一郎氏

市川市文学ミュージアム
Ichikawa City Museum of Literature



文学ミュージアム Twitter

● 問い合わせ / 千葉県市川市鬼高 1-1-4
市川市生涯学習センター（中央図書館）2階
市川市文学ミュージアム TEL 047-320-3334 FAX 047-320-3356
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/litera/>（月曜日休館）

《交通アクセス》

【JR総武線】
本八幡駅・下総中山駅より徒歩15分
【都営新宿線】
本八幡駅より徒歩20分
【京成線】
鬼越駅より徒歩10分
【車】京葉道路
京葉市川インターから5分
※駐車場はありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください

